

社団法人 日本ボディビル連盟
平成22年度 第1回 総会 議事録 (抜粋)

◇ 日 時 平成22年6月6日(日) 午後3時～午後5時25分

◇ 場 所 国立スポーツ科学センター 大研修室
東京都北区西が丘3-15-1 TEL.03-5963-0200

◇ 会長挨拶 平成22年度日本ボディビル連盟第1回総会を開催したところ、全国からご参集を賜り厚く御礼申し上げます。
今回の総会は21年度の決算報告が主な内容です。幸いにも21年度は黒字を出しております。今後公益法人改革で公益社団か一般社団か選択しなければなりません。いづれにしてもボディビルのスポーツ競技性と健康づくりの二面性を高め、広めていくことを重点にして活動していきたいと思っています。

◇ 議長選出 定款22条により、議長は玉利齊会長を選出。

◇ 定足数の確認 正会員総数58名。本日出席正会員19名、委任状による出席正会員37名、欠席正会員2名、合計出席正会員56名により正会員総数の過半数を上回り、定款第24条に基づき総会は成立。

冒頭、玉利齊会長より、栃木県前正会員の松本宏夫氏が平成22年5月13日午後3時3分虚血性心不全の為ご逝去されましたと報告があり、出席者全員による1分間の黙とうを行った。

【第一号議案】平成21年度事業報告書及び決算報告書について
別紙のとおり、全会一致で承認された。[JBBFホームページ参照]

【第二号議案】日本連盟主催大会審査員・集計委員・競技運営委員指名案について
変更の際は執行部一任とすることで、別紙のとおり全会一致で承認された。[JBBFホームページ参照]

【第三号議案】規程の改定について
別紙のとおり、全会一致で承認された。[JBBFホームページ参照]

【第四号議案】国際大会派遣役員について

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ① 日韓親善ボディビル選手権大会 | 8月1日 日本・東京都 きゅりあん |
| ② 女子世界ボディビル選手権大会 | |
| 世界女子フィットネス・ボディフィットネス | 10月1日～10月4日 メキシコ |
| ③ 男子世界ボディビル選手権大会 | 11月3日～11月8日 アゼルバライサン |
| | 団長:玉利 齊 監督:吉田 進 |
| ④ 男子世界クラシック選手権大会 | 開催日・開催地未定 |
| ⑤ 世界ジュニア・マスタースボディビル選手権大会 | 開催日・開催地未定 |
| ⑥ 男子アジアボディビル選手権大会 | |
| 男子アジアクラシックボディビル選手権大会 | 開催日・開催地未定 |
| | 団長:玉利 齊 監督:吉田 進 |
| ⑦ 女子アジアボディビル選手権大会 | |
| アジアジュニア・マスタースボディビル選手権大会 | |
| アジアミスフィットネス・ボディフィットネス | 開催日・開催地未定 |

国際大会日程が確定後、派遣役員・選手を執行部にて選出することが全会一致で一任された。
また、国際大会派遣候補選手の選考を、女子は日本クラス別(7/25)、フィットネス・ボディフィットネスは日本オールジャ

ハンミスマフィットネス・ボディフィットネス(8/8)にて行うことが報告された。

【第五号議案】 新規加盟連盟及びクラブ、並びに退会クラブ他について

1. 新規加盟連盟 高知県ボディビル連盟 平成22年3月20日付にて
正会員 白川 義礼〔会長:市川 洋二、理事長:白川 義礼(事務局)〕

2. 新規加盟クラブ

- | | |
|----------------------------|-----------------------|
| (1) 所属:愛知県連盟(クラブ) | 受付:平成22年4月28日 |
| クラブ名:ベルリオアスリートクラブ(正加盟) | |
| 住所:愛知県名古屋市中区錦1-6-33 | 電話:052-204-3955 |
| 代表:前田 剛宏(指導員資格なし) | 設立:平成11年3月11日 |
| 指導員:國井 敏治(2級指導員) | 入会金:0円、月会費:7,000円 |
| (2) 所属:長崎県連盟(同好会) | 受付:平成22年5月26日 |
| クラブ名:SASEBO鍛錬ボディビル同好会(準加盟) | |
| 住所:長崎県佐世保市稲荷町10-11-203 | 電話:0956-34-7073 |
| 代表:栄田 康人(指導員資格なし) | 設立:平成22年5月24日 |
| 指導員:なし | 入会金:2,000円、月会費:0円 |
| (3) 所属:静岡県連盟(クラブ) | 受付:平成22年6月5日 |
| クラブ名:ゴールドジム御殿場静岡(準加盟) | |
| 住所:静岡県御殿場市萩原89-1 | 電話:0550-70-0055 |
| 代表:高村 弘元(指導員資格なし) | 設立:平成21年4月1日 |
| 指導員:なし | 入会金:5,250円、月会費:9,000円 |

3. 退会クラブ

- | | | | |
|-------------|--------------------|------------|----------|
| (1) 佐賀県連盟 | パインポート | 原口浩信代表 | 閉鎖 |
| (2) 宮城県連盟 | チバフィットネスクラブ | 千葉芳典代表 | 退会:営業は継続 |
| (3) 静岡県連盟 | BODY BURN GYM | がヤ リチャード代表 | 閉鎖 |
| (4) 広島県連盟 | フィットネスジムWin | 和田肇代表 | 退会:営業は継続 |
| (5) 日本社会人連盟 | 陸上自衛隊海田駐屯地ボディビルクラブ | 見田達也代表 | 閉鎖:廃部 |
| (6) 長崎県連盟 | ファーストフィットネスクラブ | 山添和明代表 | 閉鎖 |
| (7) 長崎県連盟 | パワーズボディビル同好会 | 中村修代表 | 閉鎖 |

4. その他

- (1) 北海道連盟 代表者変更:小樽ボディビルセンター〔安田幹夫氏から門脇政明氏へ〕
(2) 栃木県連盟 代表者変更:ボディビルマツモトジム〔松本宏夫氏から松本昭彦氏へ〕
(3) 石川県連盟 代表者変更:ガイテンのいちボディビル同好会〔堺一洋氏から尾山恭三氏へ〕
(4) 茨城県連盟 クラブへ変更:土浦ボディビル同好会から土浦ボディビルクラブへ
(5) 石川県連盟 名称変更 :ダイナミックボディビル同好会から、
小松市総合体育館ボディビル同好会へ
(6) 兵庫県連盟 名称変更 :生活習慣病管理センター「パワーハウス赤穂」から、
パワーハウス赤穂へ

上記1～4の全てが理事会で承認されたことが報告された。

【第六号議案】 日本連盟専門委員の委嘱について

佐藤英文氏(愛知海南病院第三呼吸器科部長呼吸リハビリテーションセンター部長)
医科学委員会より推薦を受け、日本連盟専門委員(医科学委員)として委嘱することが、理事会で承認されたことが報告された。

【第七号議案】 正会員の変更について

岡山県連盟より申請 (旧) 栗井直樹正会員
(新) 呉屋幸市正会員
岡山県からの申請が理事会で承認されたことが報告された。

その他 運営に必要な事項の検討及び報告

1. 基本財産(利付国債)保全の為の対応について
緊急時には、会長に一任することが全会一致で承認された。
2. 玉利齊会長に役員報酬を支払うことが全会一致で承認された。
3. 事務所移転と野澤秀雄記念ボディビル資料室(JBBF事務局内)の設置について
現在の事務所が狭いので、同じビル2階の部屋へ事務所を移転することが報告され、その事務所移転に際し野澤秀雄正会員が事務所賃貸料の約半額を負担して頂けることになった。そのご厚意に対し事務局内に野澤秀雄記念ボディビル資料室を設置する事が報告され、全会一致で承認された。
4. JBBF定款、規程等、現状に適しているかどうか
定款に記載されている文部省(現在文部科学省)などについて、公益法人改革に伴い、新たに定款を策定するので、そのときに改定が必要なものは検討することが説明された。
5. 組織の充実強化について
日本ボディビル連盟は全国のボディビルの統括団体である。世界の他の団体に属している団体を無理やり加盟させることは難しい場合も有る。しかし正しい団体には一本化を呼びかける姿勢をとることが説明された。
6. 加盟クラブ認定規程について
加盟クラブ・同好会には正加盟と準加盟があり、施設の不備、指導員不在の準加盟が184箇所ある。このことはボディビル界の信頼を高め、指導の質を高める為にも早急に正加盟となる措置を地方連盟がとるべきであり、今後地方連盟は所属する準加盟のクラブ・同好会に正加盟となるように指導し、徹底することが要請された。
7. カラーリング(セルフタンニング)についての要望・検討願いについて
人工日焼けが医学的に問題視されていることと、前回の総会で日本クラス別と日本選手権大会の際に、カラーリングをすると会場の継続使用が難しくなることと JOC の環境問題での会場の養生で出る大量のビニール類のゴミの問題により使用を規制した。しかし、カラーリングしても会場を汚さず、セルフタンニングと称している商品があるとのことで、内容を検討するために検討委員会を設置することが決定した。
8. 公認競技運営委員制度の提案について
前回の総会で提案された公認競技運営委員制度について資料を提示され、10月の理事会・総会までにより具体的な作業に入り、内容については執行部に一任された。
9. 公益法人改革についての報告
前回理事会・総会と同じで今の社団法人から、公益社団または一般社団で申請するかを検討していることが報告された。
10. 公的助成金の交付決定の報告(平成22年度分6月6日現在、合計12,983,000円)

(1)財団法人日本オリンピック委員会より、	4,536,000円
選手強化委託事業分として	
(2)独立行政法人日本スポーツ振興センター(スポーツ振興基金)より、	1,060,000円
全国高等学校・日本ジュニア選手権大会分として	
(3)独立行政法人日本スポーツ振興センター(スポーツ振興くじ)より、	7,387,000円
ドーピング検査事業分として	

以上が、事務局より報告された。
11. 学生連盟についての報告
平成22年度の学生選手権でJBBFがドーピングテストを実施するに当たり、平成21年度と同様の日本

連盟への手続きが必要なことを学連に説明。アンチドーピングは競技スポーツとして活動して行くには不可欠であり、又ドーピングテスト以外にも競技ルールの統一、審査員の派遣など現在の協力関係を考えれば、学連がJBBFに正式加盟することの必要性を説明した。

12. 女子公認ビキニ検討経過についての報告

7月に依頼してあるサンプルが出来上がるので、その後日本クラス別の際に選手に試着してもらい検討することが報告され、いくつかの案と試作品を持ち寄り、より良い物を製作していこうという方向性が示された。

13. 東日本大会西日本大会の開催地について

東日本選手権大会は、9月12日埼玉県で開催されることが承認された。また西日本大会の開催地（立候補の福岡県と広島県）については、総会で4ブロックによる投票を行い2対2で同数のため、総会出席者全員の投票を行い広島県の多数により、広島県が8月8日に西日本大会を開催することが承認された。

以上で総会は終了した。